

カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2011. 10)

香川県水産試験場 藤原 宗弘
TEL: 087-843-6511

調査方法

調査日: 10月5日 9:00~12:00 (備讃瀬戸は10月3日)

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.10.5	0	0	0	1	0	11	0	4	2	1	0	0	0	0	1.7	1.4
2010.10.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2011.10.5	0	0	0	0	3	0	0	19	0	0	0	0	0	-	2.0	1.7

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

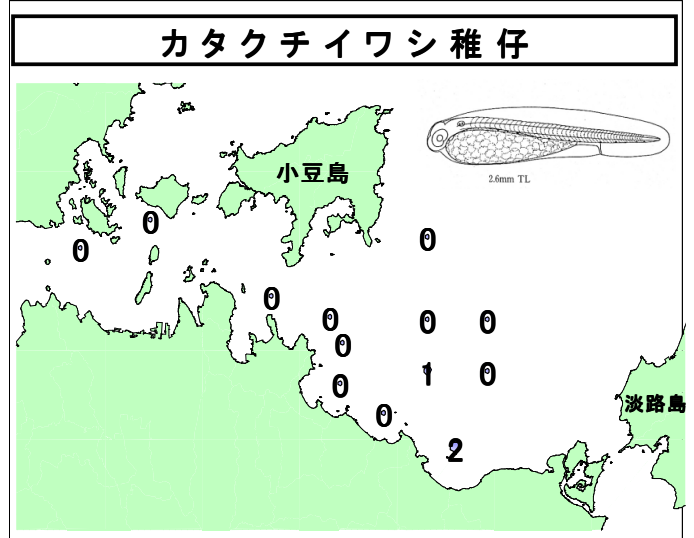
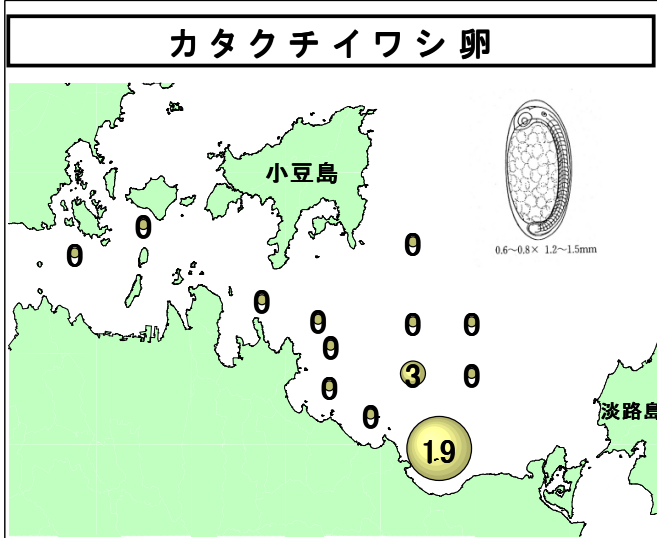
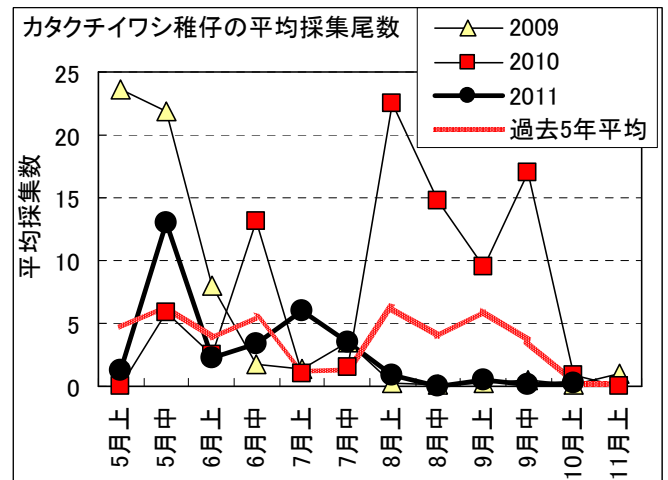
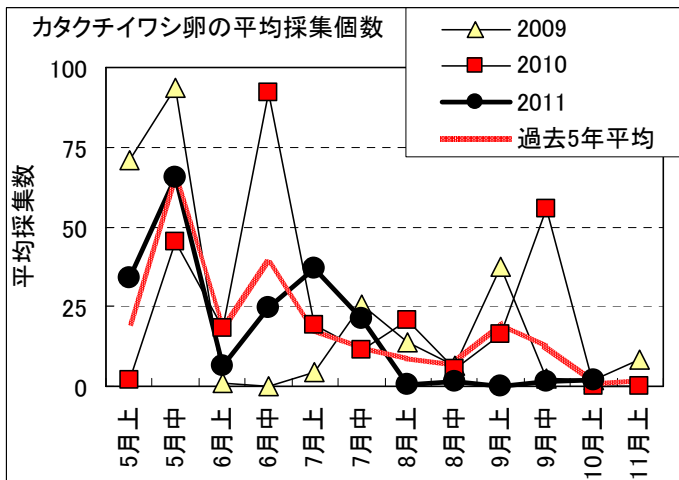
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.10.5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.2	0.1
2010.10.5	0	3	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0.6
2011.10.5	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	-	0.3	0.2

* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸を除く)。

* 13点平均値: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点の平均値を表す。

* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を現す。

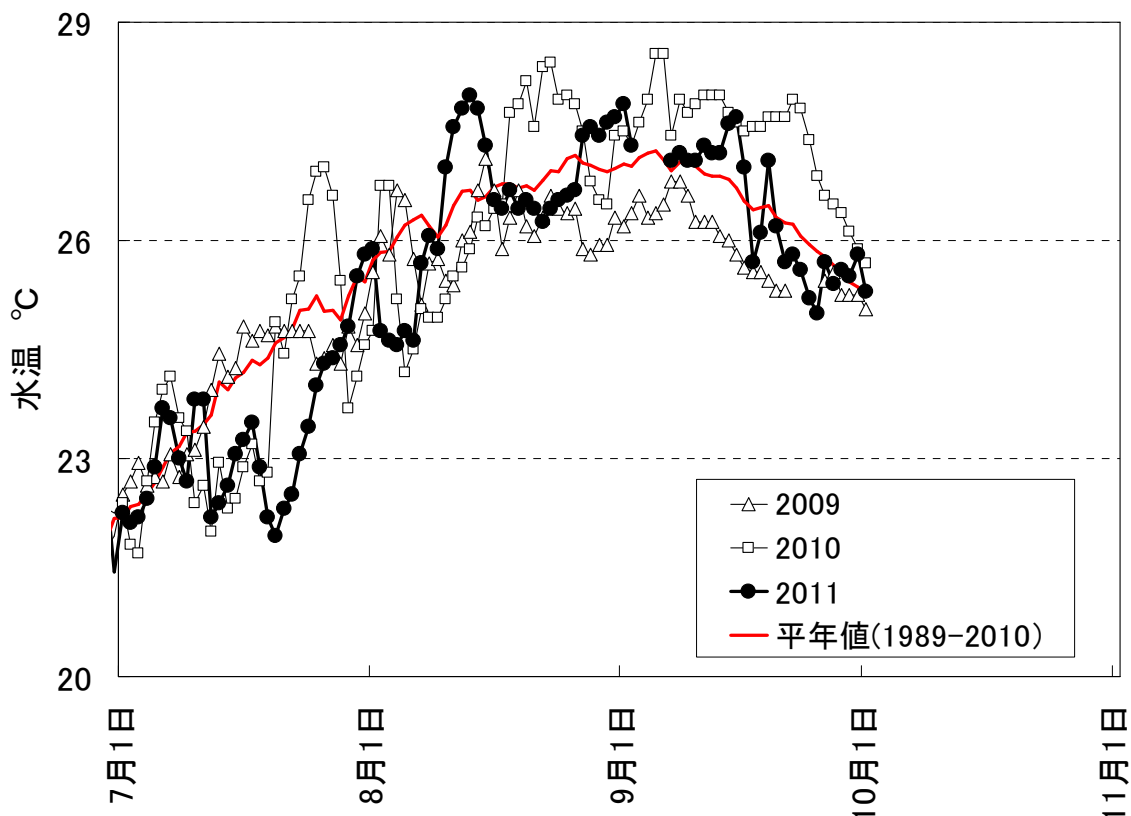
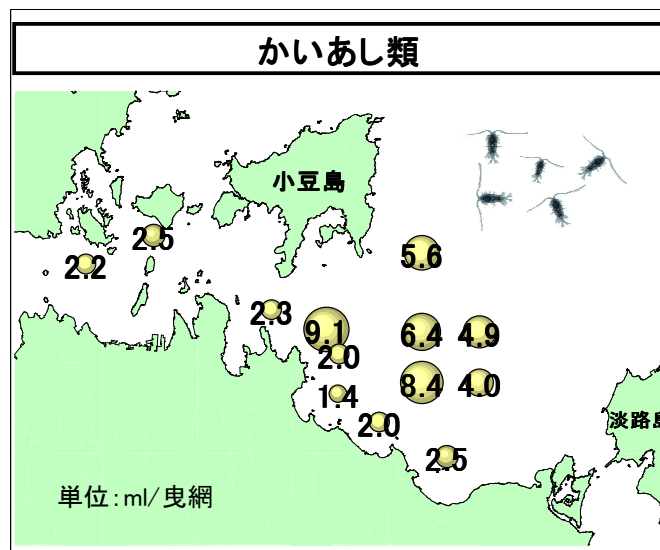


播磨灘11定点における卵の平均出現数は2.0個、稚仔の平均出現数は0.3個となり、昨年・平年とほぼ同程度であり、9月中旬よりは若干増加した。卵稚仔ともに引田沖でのみ観察された。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、8月10日頃やや高くなったものの、その後はほぼ平年並となった。9月2日の台風の影響によって、水温が測定不能となり、7日以降のデータは引田漁協前の水温を表示した。現在復旧中。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加傾向で、11点の平均は4.41mL/曳網であった。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>